

目次	頁
1. 【巻頭言】 理事になって初めて気づいたこと	土門 裕之 2
2. 社団法人日本心理学会音楽心理学研究会第一回研究集会「音楽心理学の多様性」の報告	井戸 和秀 3
3. 2008年度第2回理事会報告	4
4. 日本音楽表現学会第7回(プロムナード in フォレスト)大会第2次案内	5
5. ニューズレター-2008年度第2号記事訂正	6
6. 「2008年度版名簿記事」訂正	6
7. 新入会員紹介	7
8. 会員によるコンサート案内	7
9. 会員による新刊紹介	9
10. 「音楽表現学」Vol.7 原稿募集中	9
11. 事務局からのさまざまなお知らせ	10
1) ニューズレターへの投稿	
2) 学会の会員サポート制度をご活用ください	
3) 「音楽表現学」バックナンバー購入方法	
12. 事務局からの大変重要なお知らせとお願い	10
1) 年会費納入について(含・「経費関係細則」)	
2) 学会HP全面リニューアル	
3) 住所変更について	
4) 書式の整備	
「後援願」の書式	
「入会申込書」の書式	
13. 役員名簿・編集後記	12

日本音楽表現学会

〒616-8025 京都市右京区花園土堂町1-6



事務局：〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-4-3-801 安田香気付

Tel&Fax 078-360-1443、E-mail: music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jmexs/index.html>

年会費(5000円)の振り込み→郵便振込口座：01370=6=78225 日本音楽表現学会

土門裕之（作曲・音楽教育／理事）

音楽表現丸が初めての全国大会を開催した広島港を出航して6年が過ぎようとしています。出航時には100名に満たなかった乗客数が、札幌、静岡、岡山、熊本、そして昨年の新百合ヶ丘大会と数を増やし続け、今では250名ほどの乗客を乗せた音楽表現丸が仙台港に向けて航海を続けています。その間、サブプライムローンによって発生した爆弾低気圧「リーマンショック」によって、日本のみならず世界中が翻弄され、我国でも暗闇の中を彷徨うような辛い旅が始まりました。私達、そして愛する音楽表現丸の進路にも少なからず影響はあるでしょう。日々、波高が高くなっているように感じるのは私だけでしょうか。

さて、私は、出航以来、乗客の一人として優雅に楽しく航海に参加していましたが、昨年就任された第2レグの奥艦長、安田事務局長から通信室勤務を命ぜられ、ニューズレター担当として微力ながら勤務することとなりました。

約1年の通信室勤務を経て、今、つくづく思うことがあります。それは、音楽表現丸のブリッジや機関室、そして次の入港地との間で、いかに多くの打合せや調整、議論が行われ、難題を解決しようと当直士官が真剣に臨んでいるかということ。艦長と事務局長はいつ眠っているのでしょうか？正直、驚愕の思いを隠せません。艦長をはじめ、当直士官が寄港地とは程遠い外洋を航海中も、乗客のみなさまにとって有意義な旅となるよう、休むことなく細心の注意を払い、私には真似の出来ない詳細な

入港準備を行っていたことを、恥ずかしながら通信室勤務となりブリッジとのやりとりに関わるまで私は気づきませんでした。霧で視界が悪くなる度にポーッと汽笛を鳴らすだけで、何の役にも立てなかったことを心から反省しています。

日夜、荒波に立ち向かう音楽表現丸の燃料は、私達が音楽表現に傾ける深い情熱と溢れ出るエネルギーであることは間違いありません。加えて、みなさまから頂戴している乗船料も欠かすことの出来ない大切な燃料となっています。感謝。

心を揺り動かす情熱と感動が船内を明るく灯し、奏でられた音楽と心の叫びが航海日誌に刻まれていきます。春を迎えやつと黒潮を抜けました。入港まで残すこと2ヶ月程しかありません。ブリッジからは慌しくニューズレターVol.3の原稿、様々なプログラム案、そして開催準備資料等が送られてきます。さあ、寄港地でのワクワクする取り組みをみなさまにご紹介しましょう。次の寄港地は杜の都にふさわしく「プロムナード in フォレスト大会」というステキなニックネームが付けられた仙台の宮城教育大学です。ご乗船いただいている全てのお客様、会員のみなさまが、寄港地「プロムナード in フォレスト」での学びをご堪能頂けますよう、ブリッジ、そして通信室から第7回全国大会のご案内をさせていただきます。「各局、各局、各局、こちらは音楽表現丸。本日は晴天なり！」



社団法人日本心理学会音楽心理学研究会第一回研究集会

「音楽心理学の多様性」の報告

井戸 和秀 (音楽教育)

2009年3月20日(金)、東京都台東区生涯学習センター(3F)において、13時30分～16時40分まで9本の発表があった。予定では10本の予定であったが、最後の「音楽の好みの研究に関する一考察」は発表者の事情により中止された。第1回目でもあり参加者は少なかったが、有意義な討議が行われた。以下、発表順に概略を示す。なお、本研究会は日本心理学会の下部研究会組織であり、代表は星野悦子氏である。

セッション1 音楽と脳科学

- ・音楽と言語の関係性—ピッチの側面の研究から—：ピッチの処理に関して、神経心理学的な観点から言及した。
- ・音楽と感情—脳機能イメージングを用いた研究の最近の動向—：音楽が食物と同様な生物学的な価値を有することを示唆した。
- ・教会旋法と中東風旋法の情動的特質について—印象評価とfMRIによる検討—：各旋法の情動的特質について明らかにした。

私見：以上の3つの発表は、脳のどの部分が活性化するかを検討であった。

セッション2 音楽心理学史、演奏の知覚・伝達：

- ・音楽心理学とは何か：歴史的経緯を概観し、西洋性と心理学研究法の限界性と音楽美学(思想)との相克を指摘した。
- ・ドラム演奏の音色の印象と動作の関連について：演奏者の動作は聴取者の印象に影響を与えることを指摘した。
- ・音楽演奏の主観的評価に影響を及ぼす要因：聴取者は、楽器や編成・テンポなどによって、分析し評価していることを指摘した。

私見：以上の3つの発表内容は、すでに明らかになっているように思われた。

セッション3 音楽と認知・感情

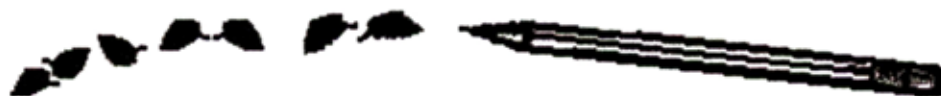
- ・'モーツァルト効果'は今：モーツァルトの作品は、優雅、穏やか、中庸の感情的性格を有することを明らかにした。
- ・誘導された気分が音楽の印象に与える影響：音楽の印象と誘導された気分は異なること、音楽には認知的側面と情動的側面があることを明らかにした。
- ・音楽の感性印象と記憶：感性と記憶とは関連していることを明らかにした。

私見：尺度を用いて、音楽の感得の仕方や内容を検証した。

未発表分・音楽の好みの研究に関する一考察：発表論文集を読むと、音楽の好みと性格特性との研究が必要である、と言及している。

以上、9本の発表を聞いて感じたことは、漠然とした音楽の捉え方がされている一方、要素主義的研究になっていることであった。したがって、音楽学者や音楽教育者との共同研究が必要であると考えられる。

※ニューズレター編集担当より：社団法人日本心理学会音楽心理学研究会から第1回集会の案内をいただきましたので、学会員にメールでお知らせしたところ、井戸和秀さんからご参加の意向が届きました。そこで、ニューズレターに報告文をお願いしました。



2008 年度第 2 回理事会報告

理事会は、これまで経費の節約のために大会時以外はメール会議で行われてきました。しかし、学会の成長とともに課題や将来構想も膨らんできたため、昨年6月の「ベル・ジーリオ」大会では、なんとしても対面での開催を、という強い要望が出されました。夏、秋、冬、と季節の移り変わりを感じつつメール会議を重ね、その間調整を続けて、3月17日(火)ようやく実現することができました。

多忙な理事に配慮して、京都駅前のキャンパスプラザ京都に会長以下全員が参集し、4時間にわたって有意義な話し合いを行いました。第2回理事会の大きな議題は、第7回大会となる通称「プロムナード in フォレスト」大会のこと、学会の将来に向けた企画、ホームページの更新内容、そして、会計や会則など運営に関わる業務についての4つでした。なお、その多くは6月13、14日に宮城教育大学で開催される大会初日、総会で審議する内容に関わるものです。是非、2009年度大会に足を運んでご意見をお聞かせください。

2009年度「プロムナード in フォレスト」大会については、オープニング演奏と歓迎パフォーマンス、基調講演、シンポジウム、パネル・ディスカッション、2つのワークショップと24件の研究発表が確定し、要項も近々会員にお送りできる運びとなりました。また、受付業務をはじめとした大会マニュアルの整備を行い、事務局と実行委員会との連携のもとで円滑な大会運営ができるように努力しています。3月24日には実行委員会が開催され、應和恵子実行委員長をはじめとして、新しく加わってくださった会員も含め、10名の実行委員の方々が着々と準備を進めてくださっています。

学会の将来に向けた企画については、「ベル・ジーリオ」大会で提案のあった学会出版物について

検討を開始しました。総会で皆様にお語りできるよう、これから準備委員会を設けて企画案を立てていきます。

ホームページの更新内容については、第1次更新を2月16日に行い、4月1日にはさらに大幅なリニューアルを行います。なかでも、学会アピール(設立趣旨)について、理事会と会長諮問会議で慎重に検討をしました。「日本音楽表現学会は音楽表現を探究するすべてのジャンルの人々を支援します。日本音楽表現学会は音楽表現に関わる人々のコミュニティです」と始まる学会アピールで私たちが重視したことは、なによりも会員一人ひとり、「人を大切に作る」学会でありたい、という思いでした。デザインも「音楽表現」にふさわしい美しいもので、現在の組織、機関誌への投稿の仕方、学会のこれまでの歩みを簡単に開いてみるができます。是非、パソコンから訪れてみてください。

会計や会則など運営に関わる業務については、まず、総会の審議事項となる会則の改正と、事務局への各種届け等の書式の整備を検討しました。また、学会費についても、公費支出等の手続きの際、金額がわかりやすいように「経費関係細則」をニューズレターや機関紙の巻末に掲載することになりました。会計に関しては、年会費および大会参加費等の払込み時に郵便局の振替払込請求書兼受領証をもって領収書に代えること、払込請求書に年会費の払込年度や大会参加費の費目等を印刷して、混乱を減らす工夫をすることが確認されました。この他の変更や審議事項についてはニューズレターやお知らせの送付時にご連絡しますので、どうぞよろしくお願ひします。

次頁に、当日の議案についてご報告いたします。

(文責 権藤)

2008年度第2回理事会議案

日時：2009年3月17日（火）13:00—17:00

場所：キャンパスプラザ京都2F第1会議室

出席者：奥、権藤、佐々木、谷口、土門、安田、柳井

【報告事項】

1. HP更新について
2. 2009年度「プロムナード in フォレスト」大会について
3. 会計中間報告
4. 「後援受理」等書式の整備について
5. 2010第8回大会開催について
6. ニュースレター2008年第3号について
7. その他

【審議事項】

1. 「学会の趣旨」について
2. 入退会規定について
3. 「役員選出に関する内規」の廃止
4. 大会発表者の資格について
5. 年会費の払込について
6. 学会基金について
7. 2009年度「プロムナード in フォレスト」大会について
8. 音楽表現学会論文集の出版について
9. 2009-10年度編集委員について
10. 学会のリポジトリについて
11. 学会HP新デザインについて
12. その他



2008年度第2回理事会の忙しい1コマ

(左から安田事務局長、権藤理事、奥会長、柳井理事、谷口理事、佐々木副会長、撮影：土門理事)

日本音楽表現学会第7回（プロムナード in フォレスト）大会 第2次案内

研究発表では、多くの方からご応募をいただきました。今年度の大会は、またまたこれまで以上に興味深く、充実したものになりそうです。どうぞご参加の準備をお始め下さい。

1. 期日：2009年6月13日（土）～14日（日）
2. 会場：宮城教育大学青葉山キャンパス2号館（JR仙台駅から市営バス約20分 次頁アクセスマップ参照）
3. 共催：宮城教育大学
4. 後援：仙台市教育委員会
5. 日程：13日 12:30 受付 13:00 開会式～基調講演からシンポジウム～総会～分科会ⅠA, B, C～懇親会
14日 9:00 受付 9:15 分科会ⅡA, B, C～ⅢA, B, C～ⅣA, B, C～ⅤA, B, C～閉会 17:00

6. 基調講演： 講師：星出 豊 氏（指揮者）
「音楽記号と音楽表現」
7. シンポジウム： 企画・司会：小畑郁男 シンポジスト：赤松林太郎、星出豊、吉川和夫の各氏
「音楽創造における楽譜の意味」
8. パネル・ディスカッション： 企画・司会：奥忍 パネリスト：石原慎司、橋本智明、村尾忠廣の各氏
「音楽における異文化受容（5）—世代を切り口に—」
9. ワークショップ(敬称略)
星出 豊： プッチーニの生涯と音楽表現
山名 敏之、樫下 達也、村上 理恵：路線図作曲一音のつながり、つながる音—
10. 研究発表：阿方 俊、桂 博章、河村義子、河本 洋一、熊谷百合子、香曾我部琢、小島千か、小森 光紗、今 由佳里、澤田まゆみ、柴田 貴子、新山王政和、鈴木慎一郎、高瀬 瑛子、寺内 大輔、長岡 功、中村 滋延、永田 裕子、中嶋 俊夫、深井 尚子、村岡 哲至、渡辺 有美、渡会 純一のみなさん
・司会者： 安藤政輝、小野亮祐、海津幸子、加藤晴子、木下千代、後藤 丹、小西潤子、佐川 馨、佐々木正利、伊達優子、豊田典子、中村隆夫、松本 進、山田克己のみなさん

11. 参加費： 学会員： 5,000 円
懇親会費： 5,000 円
第2日（6月14日）弁当代 800 円
12. 参加申込：5月初旬発行予定の『大会要項』に同封の所定の様式を用いて日本音楽表現学会事務局まで
13. 送金先：会員の方には5月初旬発行予定の『大会要項』に郵便振込票を同封しますので、それをお使い下さい。郵便振込口座：01370=6=78225 日本音楽表現学会
14. 申込〆切：2009年6月6日（土）
15. アクセスマップ：右図参照



JR 仙台駅から〇〇バス約 20 分（詳細は第 3 次案内で）

2008 年度 NLNo.2 の記事訂正

p.4 「新入会員紹介文」 高木裕美さんのふりがな 失礼いたしました。
(誤)「たかぎひろみ」→(正)「たかぎゆみ」

2008 年度版名簿の記事訂正

個人情報につき削除

個人情報こつき削除

会員によるコンサート案内

安藤政輝さん

安藤政輝リサイタル「宮城道雄全作品連続演奏会 12」

日 時：2009年3月2日（月） 19:00 開演（18:00 開場）

会 場：四谷区民会館 ホール

入場料：¥4,500（全席自由）

後 援：日本音楽表現学会

問合先：安藤政輝 ando.masateru@kisoukai.org

趣 旨：宮城道雄の全作品を弾いてゆく連続演奏会の12回目。

今回は昭和8年の作品を中心に13曲をとりあげる。

主な出演者：安藤政輝、安藤珠希、青山恵子（歌）、川村泰山（尺八）

主な曲目：《春陽楽》、《落葉》、《まいまいつぶり》

赤松林太郎さん

赤松林太郎ピアノリサイタル Season2009-2010/Vol.2 東京公演

日 時：2009年4月1日（水）19:00 開演

会 場：すみだトリフォニーホール・小ホール

入場料：前売¥3,500 PTNA 会員前売¥3,000（OLP 電話予約のみ） 当日¥4,000

主 催：Office La PARADE

後 援：日本音楽表現学会、駐日ハンガリー共和国大使館、(社)全日本ピアノ指導者協会、
毎日新聞社、モーストリー・クラシック

チケット：東京文化会館チケットサービス (TEL 03-3828-4701)、東京芸術劇場チケット
サービス (TEL 03-5391-6337)、OLP チケット予約専用 (TEL 090-1380-0142)

主な曲目：ショパン：バラード No.3 op.47 シューマン：アラベスク op.18 リスト：
孤独の中の神の祝福、ベートーヴェン (リスト編曲)：交響曲 No.7 op.92～2mov.
Allegretto、シューマン：ベートーヴェンの主題による自由な変奏形式の練習曲
リスト：ソナタ風幻想曲「ダンテを読んで」

河村 義子さん

かすみの会コンサート Kオーケストラ

日 時：2009年4月19日(日) 18:30開演

会 場：大垣市サイトピアセンター音楽堂

後 援：日本音楽表現学会、他

出 演：天野千恵、河村義子、浅野保子、伊藤美幸、桑原靖子、小森佳登、醍醐加代子、
中川貞子、西脇郁乃、藤原礼奈

主な曲目：ヴィヴァルディ：四季より「春」 J.S.バッハ：チェンバロコンチェルト D-dur
BWV.1054、モーツァルト：ピアノコンチェルト A-Dur KV414、グリーク：
ホルベルグ組曲

赤松林太郎さん

赤松林太郎ピアノリサイタル ～ソロと2台ピアノによるコンチェルト～

(財) 釧路市民文化振興財団自主文化事業

会 場：釧路市民文化会館 小ホール

日 時：2009年5月17日(日) 16:00開演 (15:30開場 18:00終演予定)

入場料：前売り券 一般 ¥2,500 高校生以下 ¥2,000 当日券 ¥3,000 (予定)

主 催：釧路市教育委員会、(財)釧路市民文化振興財団、ミュージック・ティーチャーズ・
サークル(M・T・C)、(株)エルム楽器釧路支店

後 援：日本音楽表現学会、北海道新聞釧路支社、釧路新聞社 (社)全日本ピアノ指導者協会
内 容：赤松林太郎と釧路在住で地元を中心に活躍するピアニスト、木原奈津子のクラシ
ック・ピアノコンサート (ソロとデュオ)

主な曲目：ショパン：バラード No.3 op.47、スクリャーピン：左手のための前奏曲と
ノクターン op.9、ガーシュイン：ラブソディー・イン・ブルー、ラフマニノ
フ：ピアノ協奏曲 No.2 op.18]

赤松林太郎さん

長谷川等伯を偲ぶピアノの調べ 赤松林太郎トーク&コンサート

日 時：2009年5月30日(土) 14:00開演

会 場：七尾美術館アートホール

後 援：日本音楽表現学会

主な曲目：ショパン：幻想即興曲 op.66 / ノクターン遺作嬰ハ短調、シューベルト
(リスト編曲)：セレナード、リスト：ノルマの回想 / ラ・カンパネラ

狭間 由香さん

はざまゆか鍵盤ハーモニカリサイタル

日 時：2009年6月7日(日) 15:00時～

会 場：松本市音楽文化ホール (大ホール)

主 催：ムジカコンパス

後 援：日本音楽表現学会、他

入場料：大人 ¥2,000、中学生以下 ¥1,000

出 演：はざまゆか (鍵盤ハーモニカ)、吉田桂子 (ピアノ)
金井誠指揮 KENHAMO BOOST ORCHESTRA
主な曲目：モーツァルト：オーボエ・コンチェルト (鍵盤ハーモニカによる)
バルトーク：ルーマニア民俗舞曲、吉田桂子：「春の日は花と輝く」変奏曲 (依
彌曲・初演)、早坂文雄：うぐいす、リムスキー・コルサコフ：熊蜂の飛行、他
連絡先：ムジカコンパス TEL0263-26-4762、FAX0263-26-4831

山崎 智さん

山崎 智 バリトンリサイタル
日 時：2009年6月28日(日) 14:30開演 (14:00開場)
会 場：ソフィアザール サロン (東京・駒込)
入場料：¥2,000 (全席自由)
後 援：日本音楽表現学会
出 演：バリトン 山崎智、ピアノ 鈴木範之
曲 目：シューベルト 歌曲集《冬の旅》D.911, Op89 全曲
問い合わせ：ソフィアザール サロン (東京・駒込) TEL&FAX 03-3822-9677

河村 義子さん

七夜月コンサート
日 時：2009年7月11日(土) 18:30開演
会 場：大垣市サイトピアセンター音楽堂
後 援：日本音楽表現学会、他
趣 旨：世界的に著名なチェロ奏者ユルンヤコブ・ティム氏を招き、その音楽に触
れることで、西美濃地域の音楽文化への認識を深める。
出 演：ユルンヤコブ・ティム (チェロ)、河村義子 (ピアノ)、吉村美穂 (ソプラノ)
主な曲目：バッハ：無伴奏チェロ組曲第2番、グノー：アヴェマリア、シューベルト：即
興曲より「テノールとホルンとピアノのための流れの上に」D-943、シューベル
ト：アルペッジョーネ・ソナタ



会員による新刊案内



後藤 丹さん

サン・サーンス作曲 組曲「動物の謝肉祭」ピアノ独奏版 後藤丹編曲・解説
全音楽譜出版社 5月刊行予定

新山 真弓さん

音楽表現のための準備技法論—「ステージ・フライト」を乗り越える
あいり出版 A5版 110頁 2625円 (本体2500円+税)



『音楽表現学』Vol.7 原稿募集中



『音楽表現学』Vol.7の投稿メ切は2009年5月31日(日)です。執筆要領や投稿の方法については『音楽表現学』Vol.6 巻末または学会HPの「投稿規定」をご覧ください。なお、5月末の時点では2段組でなく、1段組でご応募下さい。HPには「参考文献表記法」も例示しています。



事務局からのさまざまなお知らせ

1) 学会の会員サポート制度をご活用下さい。

(1) 『音楽表現学』への投稿

研究発表の場の一つが機関誌『音楽表現学』です。本学会は「日本学術団体」の広報協力団体です。『音楽表現学』に論文が掲載されると、大学などでは「査読付学術論文」としての評価を受けます。年度末などに業績の報告をされる際には、その旨をお記し下さい。

(2) 大会における口頭発表

大会の口頭発表は、日本音楽表現学会ならではの表現力を駆使して、文字だけでは伝えられない音声を用い、これまでの研究を発信できる場、それを参加者一同が共有できる場です。会員自身の音楽表現の創意や工夫、実践を披露し、その妥当性を問うワークショップなど、日本音楽表現学会ならではの生の音楽表現を含めた発表の機会をご利用下さい。

(3) ニュースレターへの投稿

ニュースレターは会員の交流の場です。音楽表現に関するご意見、掲載記事に関するご意見などを掲載します。テーマは何に関してでも自由です。みなさまの投稿をお待ちします。

- ・研究ノート、随想など：1600字以内
- ・コンサートの後援とご案内：会員による各種の演奏、ワークショップ、イベントなどの活動を学会は「後援」します。ニュースレター最終頁の「後援願」の様式でお寄せ下さい。
- ・新刊案内：会員による刊行物の紹介を行います。上梓されたら購入方法なども含めてお知らせください。
- ・その他、所属されている他学会の情報などもお寄せ下さい。
- ・投稿受付は随時、学会メルアド宛 word の添付書類をお願いします。

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

2) 『音楽表現学』バックナンバー購入方法

会員価格：	Vol.2～Vol.3	1部 1500円+送料
	Vol.4～Vol.6	1部 3000円+送料
一般価格：	Vol.2～Vol.3	1部 3000円+送料
	Vol.4～Vol.6	1部 3500円+送料

※ Vol.1は残部がありません。

- ・ご希望の方はメールで事務局までお申し込みください。到着後、左の代金を郵便振替でお願いします。
- ・大学図書館などへの納入については事務局にお問い合わせください。



事務局から大変重要なお知らせとお願い

1) 年会費納入について

学会は皆様方の年会費で運営されております。機関誌の発行、大会の開催などさまざまな活動に支障をきたすことのないよう、会員の皆さまには速やかなご納入をお願いいたします。

○ 2008年度までの会費を滞納されている会員には、

今回同封の「払込取扱票」にお名前とお払いいただきたい年度を事務局で記入しています。なお、行き違いご送金済みの場合はご容赦ください。

- 記入のない「払込取扱票」が同封されている場合は、2008年度まで完納されております。

- ATMでの納入をお勧めいたします。窓口と並ぶ手間が省ける上に、手順は簡単です。また、学会負担の手数料が減額され、会計上も助かります

ATM入金手順：必要事項を記入した票を機械に挿入するだけ。
 学会負担手数料：窓口の場合：120円 ATMの場合：80円

- 納入後ただちに、右側の「振替払込請求書兼受領証」(ATMご利用の時は「ご利用明細票」)に、各自で納入年度のメモをお残しいただき、無意識滞納対策の一助にされることをお勧めいたします。
- 年会費支払いを所属の機関に申請される方へ。手続きのために金額を記載した学会文書が必要な場合に備えて、右に「経費等細則」を掲載します。

※以上、ご不明の点につきましては、事務局までお問い合わせ下さい。

日本音楽表現学会経費関係細則	
(1) 本会の年会費は、次の額とする。	
正会員:	年額 5,000 円
学生会員:	年額 3,000 円
賛助会員:	任意の額
(2) 夫婦・親子など二親等以内の親族が、ともに正会員となる者は、一定の手続きを経て会費の減額措置を受けることができる。その場合の会費は、各 4,000 円とする。この措置を受ける会員は、本会が刊行する機関誌および図書の配布に一定の制限が加えられるものとする。	
附則	
1. この細則は 2003 年 5 月 30 日から実施する。	

2) 学会HP全面リニューアル

学会HPは、設立当初暫定的にデザインしたままコンテンツだけを更新してきました。このたび念願の全面リニューアルを果たしました。

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jmexs/index.html> をご覧下さい。今後はさらに情報の充実を図っていきたいと考えています。

3) 住所変更について

ニューズレターや「大会要項」が宛先不明で返送されてくるケースがあります。連絡先・所属・メールアドレス

変更については学会事務局まで必ずお知らせいただくようお願いいたします。
 (kyohome@agate.plala.or.jp)

4) 書式の整備 各種書式を整え、会員と学会との円滑な連携を図りました。

- (1) 後援を希望される方は、以下の「後援願」の書式を参考の上、メール本文に貼り付け、ワード文書添付、または郵送で事務局まで送付してください。「後援願」が受理されれば、「後援願受理のお知らせ」文書がお手元に届きます。ポスターやチラシの印刷に後援名義が間に合うよう、ゆとりを持って「後援願」をお送り下さい。

(様式)	後 援 願
	日本音楽表現学会の後援をお願いします。
氏 名:	_____
所 属:	_____
コンサート等の名称:	_____
コンサート等の趣旨:	_____
主な内容:	_____
期 日:	_____
会 場:	_____
連 絡 先:	_____

(様式)	「後援願」受理のお知らせ
	〇〇〇年〇月〇日
	日本音楽表現学会事務局長
	〇〇〇〇 学会印
〇〇〇〇様	
このたび、お送り頂きました「後援願」が承認されましたのでお知らせします。ポスターやチラシ等に学会名をどうぞ掲載ください。ご盛会をお祈りいたします。	

- (2) 入会を希望される方は、以下の「入会申込書」の書式を参考の上、メール本文に貼り付け、ワード文書添付、または郵送で事務局まで送付してください。事務局から年会費(5,000円)納入のための郵便振込票を送ります。事務局ではご入金の確認をもって手続きを進め、「入会」が承認されれば「日本音楽表現学会入会承認のお知らせ」文書をお手元にお届けします。

(様式)

入 会 申 込 書
日本音楽表現学会に入会を申し込みます。

氏 名 (ふりがな) : _____

専門分野 : _____

住 所 : _____

所 属 : _____

連絡先 : _____

連絡先電話番号 : _____

連絡先 Fax.番号 : _____

e-mail アドレス : _____

推薦者名 (学会員・1名) _____

音楽表現学会に期待されること。ご意見等 :

(様式)

日本音楽表現学会入会承認のお知らせ

〇〇〇〇年〇月〇日
日本音楽表現学会事務局長
〇〇〇〇 学会印

〇〇〇〇様

この度は、日本音楽表現学会への「入会申込書」と〇〇年度分の会費をお送り頂きありがとうございます。入会が承認されましたのでお知らせいたします。今後、この学会で是非ご活躍ください。

なお、次号のニューズレターの新入会員紹介欄の記事を、以下の項目の中から適宜選択してご執筆の上、お送りください。また、「よろしく願います」などのご挨拶用文言は省きますので、あしからずご了承下さい。

1) 内容・専門 ・音楽表現について思うこと ・この頃思うこと ・モットー ・夢
・ホームページアドレス ・所属・連絡先 等々

2) 字数：150字を超えない程度でお願いします。

3) 〆切：〇〇〇〇

4) 送付方法：メールの本文またはワードの添付。メールをお使いにならない方は郵送でお願いします。

日本音楽表現学会 役員名簿	編 集 後 記
会 長：奥 忍 副 会 長：佐々木正利 安田 香 理 事：榎藤 敦子 谷口 雄資 土門 裕之 柳井 修 会 計 監 事：加藤 晴子 若井 健司 編集委員長：杉江 淑子 副委員長：小西 潤子 委員：後藤 丹 小畑 郁男 佐野 仁美 安藤 珠希	<p>3月31日に発行予定でしたが4月1日にずれ込みました。TVでは辞令交付や入社式を報じています。新鮮な空気が周りに流れているように感じられます。日本音楽表現学会も設立以来7年目を迎えます。</p> <p>この度は「事務局からの大変重要なお知らせとお願い」にある通り、学会HPの全面リニューアルを行いました。長い間の念願が実現した背景には、学会初の年度内対面理事会実施など理事の方々の緻密な計画と責任ある遂行があります。また、私が現在所属している大学院の先輩方のデザイン力、若い力があります。リニューアル頁は美しく、機能的で学会の一つの誇りになるでしょう。みなさまのご感想・ご意見を是非お寄せ下さい。お待ちしております。</p> <p style="text-align: right;">(奥 忍)</p>